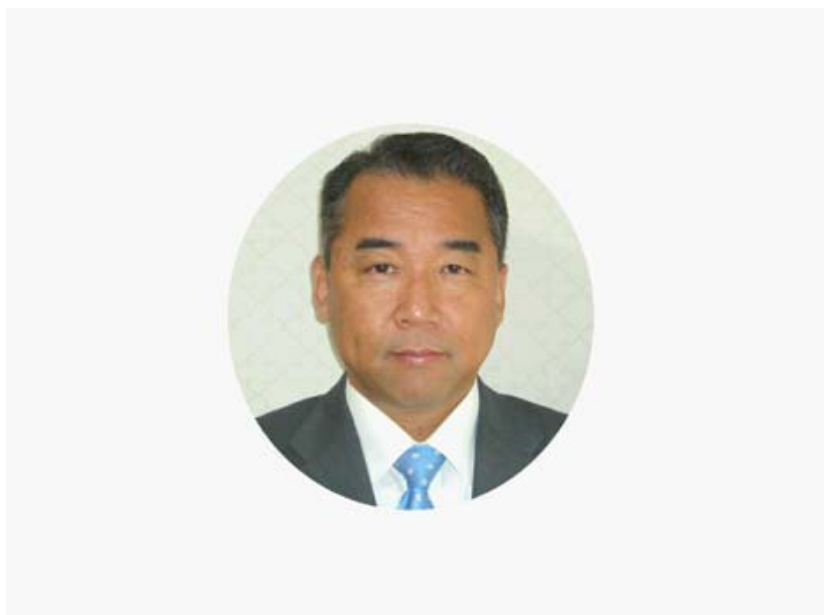


## 温かな心の人にと願いつつ

校長 吉村 純三



昨年の大みそかは日本海側を中心に「豪雪」ともいうべき、記録的な積雪となり、一部では電車が動けなくなり、大勢の人が困っていました。そんな中で駅の近くの人たちが、温かなお茶やおにぎりの炊き出しをおこなって下さり、多くの人が文字通り「温かな心」に不安を吹き飛ばし、車中で、すがすがしい新年を迎えたことが報道されていました。以前、子ども達に「お互い様」という言葉について話しました。「様」は「有り様」「様子」であり「今は違ってもお互いに同じような状況になることもある」だから、人は困っている人に出会ったときには、自分のことのように思い、お互いに助け合う気持ちが大切であることを話しました。

3. 11の大震災は正に、人ごとではありません。お互い様です。困難の中に生活する方々のことを考え、今、私達のできることを子ども達とともに、学校や地域で、そして各家庭で少しでも実践していきたいものです。

新1年生をはじめ、亀川小学校の全ての子ども達が、温かな心を大切にできる人に成長しゆくことを期待しています。